

# 第 16 回亜鉛めっき年間大会講演会のご案内

## ご挨拶

鉄は私たちの社会生活に欠くことのできない素材として、様々な分野で使用されています。しかし、強靱で美しく安価な鉄も、腐食には弱く、錆が進むと美しさも機能性も失われ、様々な鉄鋼製品や構造物の寿命が損なわれます。

社会経済の高度化、地球環境の保全、少子高齢化に伴う労働者不足を背景に、「持続可能な社会の実現」のため省資源、省エネルギー、メンテナンスフリー化などを望む声が強くなっており、これを受け、鉄鋼の防錆に大きな力を発揮する亜鉛めっきへの期待も高まっています。

このたび、時代の要求に応えるため、建築および土木素材としての亜鉛めっきの有用性と使用上の留意点を、使用する者の立場に立った講演会を企画いたしました。皆さまのご参加を心からお待ちしています。

**日時** 平成 27 年 11 月 12 日（木）13：00～16：30

**会場** 連合会館 2階大会議室（東京都千代田区神田駿河台 3-2-11）

**主催** 日本鋳業協会鉛亜鉛需要開発センター

**後援** 経済産業省

東京都

一般社団法人日本建築学会

一般社団法人日本建設業連合会

公益社団法人日本建築士会連合会  
（順不同）

**協賛** 一般社団法人日本溶融亜鉛鍍金協会

一般社団法人日本鉄鋼連盟

一般社団法人日本防錆技術協会

一般社団法人日本建築板金協会

一般社団法人日本金属屋根協会

一般社団法人日本溶射学会

一般社団法人表面処理協会

日本金属サイディング工業会

日本溶射工業会

普通鋼電炉工業会（順不同）



## 講演会次第

1. 開会の辞	13:00～13:05
日本鉱業協会 理事 鉛亜鉛需要開発センター長	岸本 一彦
2. 主催者代表挨拶	13:05～13:10
日本鉱業協会 会長	大井 滋
3. 来賓ご挨拶	13:10～13:15
経済産業省製造産業局 非鉄金属課長	井上 幹邦
4. 講演	
1) 溶融亜鉛めっき鉄筋について	13:15～14:00
株式会社日建設計 構造設計部門 参事	津山 巖
溶融亜鉛めっき鉄筋は、ボンドおよび機械的特性に関し黒鉄筋と同等の性能を示すこと、コンクリートアルカリ性やコンクリート崩落に対し抵抗性を示し、防錆鉄筋として有効であることを説明する。	
2) 塗装／亜鉛系めっき鋼板の接触腐食と環境対応規格	14:00～14:45
一般社団法人日本鉄鋼連盟 建材薄板技術・普及委員会技術分科会 主査	石川 博司
JFE鋼板株式会社 商品技術部 主監	
建材用の塗装／亜鉛系めっき鋼板の種々の pH 環境における接触腐食及び異種金属接触腐食の事例、防止対策と適正材料の選択などの考察および6価クロムフリー材及び遮熱塗装鋼板の J I S 規格化の経緯と結果を報告する。	
【休憩】	14:45～14:55
3) 亜鉛めっき鋼板の大気腐食挙動解明のための電気化学	14:55～15:40
芝浦工業大学 工学部 教授 工学博士	野田 和彦
亜鉛めっき鋼板の大気腐食挙動を解析・解明するための電気化学測定を通し、亜鉛めっき膜の有する耐食性や反応性、溶解性を評価するとともに、亜鉛による下地鋼への防食効果について報告する。	
4) 亜鉛-アルミニウム合金めっきの耐食性	15:40～16:25
一般社団法人日本溶融亜鉛鍍金協会 技術委員会	前山 雅博
溶融亜鉛めっきは鋼構造物に広く普及しており、近年その耐食性能を向上するためアルミニウムを添加した合金めっきが開発されている。亜鉛-アルミニウム合金めっきの耐食性調査結果を報告する。	
5. 閉会の辞	16:25～16:30
日本鉱業協会 専務理事	加藤 元彦

**定員** 220名（申込〆切 11月5日、申し込みは先着順、定員になり次第締め切り）

**参加登録** 無料

**講演集代** 実費 1000円/部にて販売いたします。

**申込方法** 別紙申込用紙に、氏名、所属、役職名、連絡先、電話番号等を明記の上、FAX、e-mail、または、当センターのホームページ（<http://www.jlzda.gr.jp>）「最新のお知らせ」の Web お申込みよりお申込み下さい。